



キャンパスにのせて

入居者 玉木 文雄



平成二十二年九月入居
大正六年十一月生まれ
九十五歳

今回、玉木様にインタビュー
を行いました。

質問は夢編集委員です。

Q 玉木様が絵を描き始めたきっかけを教えてください。

もともと絵が好きで、学生時代や兵隊に行っている時も描いていました。兵隊時代は仲間の似顔絵を描いて喜んでもらいましたよ。本格的に描き始めたのは、妻が亡くなってからです。妻が亡くなり、手持ち無沙汰になったので。本格的に先生に教えて頂いたのも、その頃からでした。教えて頂いた先生はあまり絵が上手ではないと思っておりました。が、辻堂で場所を借り、モデルが来ましたので毎週土曜日、デッサンに通いました。二十分ごとにポーズが変わり、どんどん描いていきました。その時の事は勉強になったと思います。その時に教えて頂いた先生からは、あまり「絵」を習ったと言う感じではなく、とにかく「絵



【発行所】
財団法人長寿会
小田原市入生田475
TEL.0465-24-0002(代)
発行人/加藤伸一
編集/夢編集委員会

もくじ

花に寄せて……………	3
朝の体操……………	3
祖父母の家……………	4
長寿園の日々……………	5
長寿園ウォーキングコース…	6

長寿園理念

「人生の目的は円満幸福の生活にある」との信念に基づき、高齢者がそれぞれ円満で幸福な生活ができるよう所要の協力と支援を行うことにより社会に貢献します。

は大きな物を掛け」と言われ大きな作品を描き始めました。いきなり先生に鉛筆を渡され大きなスケッチブックに描きました。確かに絵は大きい作品を手掛けるのが良いと思っております。

始めた頃の絵は今見るとあまり上手ではないのですが…妻の似顔絵も数枚描きました。新婚当時に一枚描きましたが今見るとパーツでは似ていますが、バランスなどを考えるとあまりうまく描けませんでした。しかし描いていくうちにどんどん似てきています。妻の似顔絵は自宅に今も置いてあります。

Q 何をモデルに描きますか。

やはり、人間ですね。表情など描いていて楽しいです。最近ではB棟の屋上からの景色を描きました。油絵の道具は重くて運ぶのが大変なので、いろいろ描きたい物はあるのですが、あまり実現しません。今ではパステルや、クレヨンで描いています。パステルは凄く優しい雰囲気仕上がりですが、やはり

クレヨンで描く方が好きです。本当は絵具で描きたいのですが…

Q 今までで一番思い出にある絵はなんでしょうか。

やはり、妻の絵ででしょうか。妻にしてやれる事が少なく、旅行もあまりいけませんので。二度ほど国鉄の旅行に行きましたが、他に何もしてやれませんでした。兵隊に行ったときに捕虜にもなりましたし、物の大切さを知り、妻には貧しい生活をさせたくなかったので、老後に向け節約をして、これから二人でゆっくり生活しようと考えた矢先の事でしたので。

他には、自宅が鶴沼にあるのですが、少し歩いた海岸からの夕日を描いた絵(表紙)があります。それも思い出として残っています。夕日を見に何日も何日も通い、見たままを覚えて帰り、キャンパスに今見た物を描いていく事が大変でした。時間がすぐくかかった作品です。しかし市の作品展に出展しましたが、あまり評価されず、がっかりし

たのを覚えています。

Q 最後に今回の題名を決めて頂けませんか。

うーん難しいですね。「懺悔」ですね。うん。「懺悔」妻に対しての懺悔と「言う事にして下さい」

ありがとうございます。



丹沢の山々と富士

詠草

鈴木芳子

(入居者家族)

雨風にうたれし梅の花びらが
散りしく庭にきじ鳩あそぶ

丹沢の尾根に二つの虹たつを

夫看とれる病院に見つ

もろもろをねぎらう如く庄之助

千秋樂をつぐるまなかひ

寒き夜は抹茶をたてて和菓子めで

一人点前をわれは楽しむ

梅園に商ふ色の清かなる

ジャムなど孫にわが求めをり

雲洩るる月の光をたのしみて

猿沢の池船にめぐれる

炎天に瓦の光金沢が

映像に出づわれのふるさと

花に寄せて

夏の花

百日紅(さるすべり)



入居者 渡辺 千萬子

夏の花の代表格は、おそらく向日葵であろうが、あえて「百日紅」を選んだ。

夏の花と決めてしまうのは少し無理があるかと思うけれど初夏から咲きはじめて、花期が長くずっと秋までも咲きつづいているので「百日紅」の名がついたとか？

幹の表皮が滑らかなので、猿もすべるの意とか。ミゾハギ科、落葉高木、中国南部原産。と辞書にはある。

街路樹というと、何といてもプラタナス(すずかけ)が多いが、大阪の御堂筋は、銀杏(い

てう)だった記憶がある。これは中央分離帯だった。秋の黄葉はきれいだっただのを思い出さなつかしい。

ここ小田原はこの「百日紅」が街路樹になっている。この樹が大きくなって、紅色のあるいは白色の小花が群り咲いた時にはどんな風景が展開するのだろうか。一目みてみたいものだと思うけれど、今はまだ細い木で生きている間にはとても無理だろうなど残念に思う。



百日紅

朝の体操

管理栄養士 長谷川 晴美

朝の体操の時間は、ご入居者の健康を考え、創立当時から現在も形を変えながら毎日行っています。

今まで行っていた、準備体操・ラジオ体操・棒体操に加え今年の四月からは、セロトニン(幸福ホルモン) 活性の音楽を聞きながらのウォーキングをスタートしました。遊び心で東海道の地図を作成し、大ホール三周で一スタンプ、屋上一周で一スタンプというように地図を進んで行き、東海道ウォーキングの旅を楽しんで頂いております。

お天気のいい日は屋上で、さわやかな風を感じ、小鳥のさえずりを聞きながら「気持ちいいわね」と笑顔でお仲間とお話しされている姿を見るとうれしく思います。

皆様は、健康意識が高いようで、参加者も増えてきました。これからも、ずっとお元気で過ごしていただけるように、体操を通じてお手伝いできたらと考えています。



朝の体操の様子

祖父母の家

理事長 加藤 伸一



このところのNHK朝の連続ドラマは、どれも大正末期から昭和初期に生まれた主人公の一生を描いたものとなっている。

ご入居者でいえば、八十歳から九十歳くらいの方の生きてこられた時代背景だ。ご入居者の方とお話すると、実際とはだいぶ違うが、大体はあんなもんだったかもしれないということだった。その昔の連続ドラマは、「おはなはん」にしろ「雲の上のじゅたん」にしろ、「おしん」にしろ、明治生まれの方が主人公であった。同じ八十年九十年の人生に

しても、時代背景はずいぶん異なる。明治から高度成長期の日本を経験した人生と戦前戦中戦後そして平成までの人生を歩んだ人とは価値観も大きく異なる。

日本はいつのころからか、先進国となり、今は、衰退期に入っているという人もいる。そんな中で、高齢者はより長寿となり、今や世界一、同時に少子化はとどまることを知らない。大きく社会が変化する中で、人間関係や家族関係も連続ドラマの時代とは全く変わってしまった。長寿園においても一般社会ほど大きくはないが変化がおこっている。ある意味ではいい変化もあるが、ご入居者とご家族と園との関係は以前と比べて、だいぶ密度が薄くなってきているような気がする。特にお孫さんの

来訪が少なくなってしまう。これは総じてご入居者が高齢になってしまい、孫という二十歳三十歳となってしまいうからか、であれば曾孫ちゃんと一緒に来られてもよいと思う。

国が衰退期に入ったといってもハード面ではない。建物や設備は二十年前と比べても格段に進化している。衰退しているのは、人々の心や志ではないだろうか。おそらく豊かになりすぎて麻痺してしまったのかもしれない。豊かさを得た代りに失ってしまったものかもしれない。誰もが、とりあえず明日のことしか考えていないような気がしてならない。

長寿園は自立自助の人生を望まれる方のお手伝いをさせていただくことを目的に六十年前に創立され、それは今も変わらない。しかし、昔のような親子関係や親戚づきあいがなくなってしまう今日、一歩間違えると、孤独、孤立がうまれてしまう。長寿園の主人公はご入居者ご自身であり、家族やいわんやスタ

ッフではない。大きく変わる社会構造の中で高齢者自身よりそのご家族の方が指針を見失われているような気もする。

有料老人ホームは今や介護施設という認識が一般化してしまった。本来は高齢者の住宅であり、長寿園は初期のころは老人別荘と言っていた。今でも、もちろん住宅であり、お子様にとっては親御さんの家である。そのようにとらえていただいで、日々の支援をさせていただいている私たちとの親戚のような関係を作っていたら最高である。



開設当初の様子



初夏の行楽(ショート)

初春行楽
河津町雛の館



振替行楽
小田原南町散策

長寿園の日々



初夏の行楽(ロング)



フラダンス&社交ダンス



お花見バイキング

- | | | | |
|-------|-----------------|-------|------------------|
| 1月15日 | だんご焼き | 5月4日 | コーチャル歌声の部屋 |
| 2月3日 | 豆まき | 5月12日 | 春の運動会 |
| 2月16日 | 観梅行楽(河津桜祭り) | 5月13日 | 母の日の集い |
| 2月29日 | 観梅行楽(雪の為延期) | 6月23日 | C棟行楽 |
| 3月18日 | フラダンス&
社交ダンス | 6月6日 | 初夏の行楽(ショート) |
| 4月4日 | 振替行楽(苺狩り) | 6月10日 | 十字町教会
歌のプレゼント |
| 4月11日 | お花見バイキング | 6月12日 | 初夏の行楽(ロング) |
| 4月30日 | 筍狩り | 6月16日 | 父の日の集い |

長寿園ウォーキングコース 『一夜城跡』



長寿園の周辺は散歩コースに事欠きません。園の玄関を出て右へ上がって行くと心を落ち着かせたい方が楽しめる自然と癒しのコース、みかん畑と春日局のお墓を通り、鳥のさえずり可愛く綺麗な季節の草花を見ながらゆっくり歩いて十五分。小川のせせらぎが聞こえ、大きく深呼吸するとそこは樹齢三百余年以上のしだれ桜が現れます。

こちらは毎日でも楽しめる散歩コースになっておりますが、今回は活動的な方向向けのアクティブコースをご紹介します。

県立生命の星地球博物館を横切り、早川を眺めながら一夜城跡へ。道路は新しく舗装もされ、分かり易く歩きやすい道です。

一夜城跡に到着すると昨年十一月にオープンしたあの有名なパティシエ鎧塚俊彦氏のお店、「鎧塚ファーム」がありますので、ここで一息。四月に行楽ショットコースを行った際には車椅子の方もこのお店に伺いました。

店内には小田原産の野菜や果物を使用したアイスやケーキ、クッキー、焼きたてのパンの良い香りに誘われて店内に自然に足が向いてしまいます。小さなクッキーなどの見た目は女性が喜ぶ可愛らしいデザインになっており、多くのお客様が、かごに入れる姿が目立ちました。喫茶も出ますので美味しいコーヒーと一緒に召し上がれます。時には散歩を忘れ、ちよっと早いランチャイムもいかもしれません。

もちろんお店だけでなく歩外に出れば歴史が残る一夜城歴史公園を背中に感じ、目の前には小田原の市内、少し遠くに目をやれば一面に広がる相模湾が見渡せます。帰り道は違う道を選ぶとまた楽しみが加わります。

早川を目指して下って行けば

眼下には小田原の町と相模湾が一望出来ます。小田原城、新幹線の往來に加え、天気の良い日には大島まで見渡すことができ足取りも軽やかになります。道の脇には小田原名産のみかん畑も広がり、海風が気持ちよく吹き抜けていきます。

片道六十分前後のコースですが、ご入居者も心地よい散歩コースを楽しまれている方がいらつしやいます。ご健脚な方には初夏の海風と美味しいスイーツを楽しむにお出かけになってみては如何でしょうか？



編集委員が写真撮影に伺ったところ偶然、オーナー鎧塚さんとお会いできました。その時の写真です。